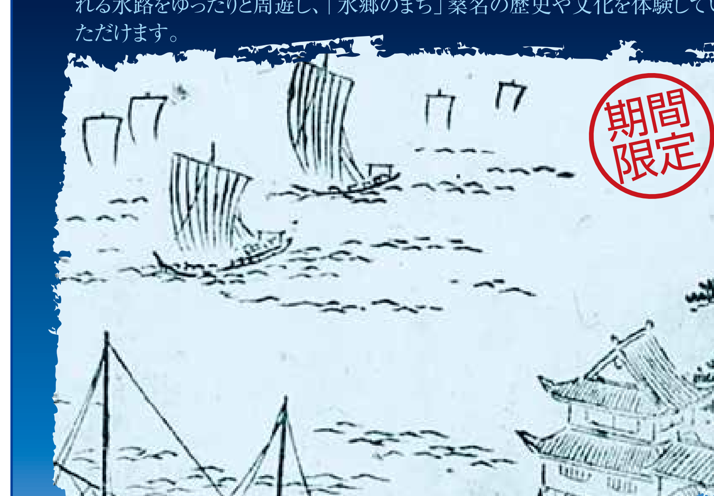
KUWANA'S SUIGO BOAT TOUR

桑名水郷 舟めぐり

かつて水上交通で栄えた桑名。例年、春に行われる舟めぐりでは、市内を流れる水路をゆったりと周遊し、「水郷のまち」桑名の歴史や文化を体験していただけます。



桑名城お堀めぐり

東海道唯一の海路、七里の渡しは多くの浮世絵に描かれています。桑名城の石垣跡・市内の水路・明治の豪商諸戸家の前へと舟が進みます。

満開の桜が舟から楽しめます。

お問い合せは 桑名市観光協会 TEL 0594-41-2222
https://www.city.kuwana.lg.jp/kanko/event/spring/spring003/index.html

桑名萬古

沼波弄山(1718～1777)によって作られたのがはじまりです。三重県の伝統工芸品の指定を受けています。

桑名盆

丸盆にかぶらの絵が描かれたもので、白河藩主松平定信によなく愛され、幕府にも献上されています。

桑名鋳物

桑名での鋳物の始まりは極めて古く、戦国時代といわれています。伝統ある技術で、幅広い分野の製品が作られています。

桑名の千羽鶴

桑名の千羽鶴は、一枚の紙から複数のつながった鶴を作る折り方です。江戸時代に長圓寺の住職・魯縞庵義道(ろこうあんぎどう)によって考案されたもので、折り方が市の文化財に指定されています。

桑名のおすすめ！工芸品・特産品

しぐれ煮

主に魚介類をたっぷりの醤油で浮かし炊きしながら、佃煮風に調理したもの。佃煮とは違い、柔らかい食感が特徴です。

蛤

「その手は桑名の焼き蛤」の掛詞で知られる桑名の蛤は、江戸時代からの名物。今でも多くの店で蛤料理を味わうことができます。

安永餅

江戸時代以降、東海道を行き交う旅人に親しまれてきた桑名を代表する銘菓です。細長く伸ばした餅のなかにあんこが入っています。

酒・ビール

古来より米の交易港として栄えた歴史より、良質な米が手にはいることから酒造りが行われました。

たがね

昔より桑名で親しまれている厚焼き煎餅。たまり醤油での味付けも伝統の味です。

和太鼓

水運を活かして、鈴鹿山系の良質な木材の集積地であった桑名では、和太鼓の生産が古くから盛んです。桑名を代表する石取祭には欠かせないアイテムです。

おでかけ前にまずコチラ。目的地の情報満載!
https://wowmap.jp
わおマップ 検索
わおマップ 西日本版 中日本版 東日本版
Take Free 目的エリアの道路情報、観光、レジャー、産業などの情報がわかる便利な「わおマップ」などを設置しています。

関東エリア	わお ステーション 海老名	東名高速道路 / 下り線内
	わお ステーション 守谷	常磐自動車道 / 上り線内
中部エリア	わお ステーション 岡崎	新東名高速道路 / 集約型内
四国エリア	わお ステーション 四国	高松自動車道 / 下り線内

広告掲載のお問い合せ・お申し込みは 英公社株式会社 790-0831 愛媛県松山市山田町1386-5 TEL.089-977-9333 FAX.089-977-9345
https://wowmap.jp ◆2022年12月1日調整 KI:2560 2022.12

◆この地図は英公社株式会社(版権所有)発行の最も新しい地図を調整したものです。いかなる形式においても、著作権者に無断で、この地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
◆この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図を使用したものである。(承認番号 平23情使、第409号)

PROFILE MAP
24 三重県 プロフィールマップ まちを知ろう！行ってみよう！
Kuwana City

桑名市

多度大社

本多忠勝像

桑名石取祭(ユネスコ無形文化遺産)

ひと目でわかる情報マップ!地域やまちの魅力満載!
https://wowmap.jp
わおマップ 検索 英公社株式会社

しあわせ祈願
白馬伝説

多度大社

〒511-0106 三重県桑名市多度町多度1681番地
TEL:0120-37-5381
繋がらない場合 TEL:0594-48-2037 / FAX:0594-48-5381
Instagram ホームページ

多度大社

毎年5月4日、5日に行う「上げ馬神事」で全国的にも有名。
御祭神は本宮に天津彦根命（あまつひこねのみこと）、別宮にその御子神の天目一箇命（あめのまひとつのみこと）をお祀りしています。天津彦根命は伊勢の神宮にお祀りする天照大御神の御子神になり、伊勢の神宮から見ると御子様と御孫様という関係になります。そのため「お伊勢参らばお多度もかけよ、お多度かけねば片参り」と古くから謡われ、北伊勢大神宮とも言われています。
伊勢参宮の折には参拝に訪れる習わしが現在でも残っており、全国各地から篤い信仰を集めています。
白馬が幸せを運んでくるという「白馬伝説」もあり、一年の幸せを願う参拝者も多く訪れます。

多度祭 上げ馬神事

三重県無形民俗文化財

上げ馬神事は、多度大社の例祭である多度祭において、毎年5月4日・5日の両日行われる奉納行事。その起源は南北朝の頃に始まり、武家豪族ならびに、氏子達が古式のまま神様に奉納する行事として行ってきた。しかし、織田信長の兵火に罹り約40年の間中断している。徳川家の時代となり、本多忠勝公が桑名城主につかれ神社の再興をなし、第2代城主・本多忠政公により祭事が復興され、多度祭・上げ馬神事が再開される。この頃より御厨制度が確立し、広大な祭事となって今日に至っております。
多度祭の上げ馬神事は、人馬一体となり約2mの絶壁を駆け上がる躍動的な祭りである。